

めいわ かわら版



辻本 理香

めいわ可睡保育園

浜松学院大学短期大学の幼児教育科を卒業した辻本理香さんが、社会福祉法人明和会に入社したのは2020年。働き始めてまだ1年強。先輩方の優しさ子どもたちの笑顔に日々励まされている辻本さんに、保育士としての大変さや、やりがいなどについて伺いました。

数ある保育園の中から、めいわ可睡保育園を選んだ理由は何でしょうか。

大学時代、実習で訪れたのがめいわ可睡保育園でした。1年生の終わりと2年生の頃に、2週間ずつ。保育の傍ら、先生方は親切な指導で、わからないことがあれば何でも優しく教えてくれました。若い先生も多いのですが、尊敬できる部分がたくさんあり、「一緒に働いて、良いところをどんどん吸収していきたい」と思ったのが一番の動機です。

実習で印象に残っていることはありますか。

実習の仕上げとして行う「責任実習」では、多くの学びがありました。

を過ごしたと語る辻本さん。これからも誠心誠意仕事に向き合い、多くのことを吸収していくでしょう。

でしまつて危険なので、チェックすると良いよ」。

後に、担任の先生や園長から注意点を教えてもらい、失敗した部分はあったものの、今後の糧になった実習となりました。

保育士として1年間働いた中で、嬉しかった出来事は何ですか。

初年度に担当したのは、2歳児クラスのにも組。本来の主担任は夏目先生なのですが、経験を積むために副担任である私も、週替わりで主役となつて活動させてもらいました。夏目先生の話はしっかりと聞いている子どもたちも、私が相手では全体がざわついてしまい、クラスがまとまりません。初めの頃は恥ずかしさと緊張が勝り、声が小さくなつてしまつたり、うまく話せなかつたりしたので、そのためかと思えます。大きな声や抑揚をつけた話し方を意識するうちに、子どもたちも徐々にこちらを向いて話を聞いてくれるようになりました。

ほかにも気を配ったのは、子どもたち全員とまんべんなくコミュニケーション

決められた時間内に、実習生が主導して保育を進めるというのが、実習内容です。前もって計画を立てておくのですが、先輩である先生方からもらったアドバイスは、遊びの内容だけでなく、導人と締めくくりまで考えるということ。子どもたちが落ち着いて活動に取り組めるように、流れをしっかりと作らなければならぬという気づきがありました。

一度目の責任実習で行ったのはエプロンシアター。「大学の授業で作った保育教材を使って、子どもたちの前で実践してみよう」と思いつきました。カレーを作る工程を題材とした内容で、子どもたちの反応は上々。手遊びを交えながら、みんなで楽しむことができました。

二度目は、趣向を変えて園庭での外遊び。シマオニという鬼ごっこに挑戦したのですが、対象年齢が高めだったようで、ルールの説明が難しく……。子どもたちにきちんと遊び方を伝えられませんでした。

「子どもは、説明を長時間聞いてられないから、なるべく簡潔にわかりやすく」。



最後に、今後の目標をお聞かせください。

慣れてきたとはいえ、まだまだ保育がうまいかずに悩むときも多々あります。

「夏目先生だったら、どうするのだろう」。

自分の中で課題を見つけては、先輩方の保育の様子を観察する。日々その繰り返しで、学びにつなげていきます。

2年目に任されたのは、1歳児クラスであるいちご組の副担任。年齢が1歳違うので、ゼロからのスタートのつもりで、気持ちを新たに頑張っていきたいと思えます。

保育士として、実りの多い1年間



<企業情報>
社会福祉法人明和会
■法人認可：1966年11月
■事業活動収入：22億円
※2021年6月時点
■問い合わせ先：0538-42-3228



拠点紹介

息の長い
支援ができる

相談部門

相談支援センター めいわラック 静岡中東遠障害者就業・生活支援センター ラック 中東遠ワークセンター ワークラック

今回ご紹介するのは主に障害者支援を行っている拠点です！
一人の人生に向き合えるお仕事をされている長尾さんに紹介していただきました！



相談支援センター
めいわラック
ながお
長尾 ちはるさん

PROFILE

長尾さんのプロフィール

休日は家で音楽を聴いたり、読書をしたりして過ごしています。音楽はジャンルを問わず幅広く何でも聴きます。本は、謎解き小説が好きです。オンオフがはっきりしているタイプだと思うので、仕事に集中している分、家ではゆっくりしています。

主な業務内容

心身に障害があり就労されていない方を対象とした、福祉サービスの相談を承っています。市役所の福祉課の方と連携をとりながら、市内の障害者手帳を持つ方からのご相談を受け、サービスを受けるための計画書を作成する業務も行っております。

さらに、私のいる事務所は、同じ建物内に別の事業部があります。他の部署とも連携を取りながら、相談者の方に合ったサービスを提供しています。障害者就業・生活支援センターラックは、就労されている障害者の方の生活面の支援、また、ハローワークでの就職活動や雇い主とのマッチングなどをしています。中東遠ワークセンターワークラックは、就業に特化している部署です。一年以内に就職ができるように、集中力や持続力の訓練をしたり、マナーを教えたりする部署です。

自慢できるところ

同じ建物に様々な部署があるため、連携がとりやすいことが自慢です。一人ひとりに対して、総合的な問題解決がしやすいので、そこが他の施設とは違う強みだと思います。私の仕事でいうと、下は2歳、上は80歳というように、幅広い年齢の方がご相談にいらっしゃいます。まだここで働いて10年ですが、やろうと思えば何十年も1人の相談者の方の人生に寄り添えます。私の事例でいうと、初めて相談されたときは幼かった方が、就学したり、進路を決めたりといった決断をするときに、寄り添えたことがあります。

今後の目標

相談者の皆さんの幸せに寄り添い、安心して充実した生活を送れるように尽力していきたいと考えています。例えば就業がかなわなければ、職業訓練や福祉サービスを提案し、その方がより幸せな人生を歩めるように、一緒に考えていきたいと思っています。



頑張る職員をご紹介します！

障害を持っている方の就業面とそれに伴う生活支援を行なっている支援センターラック。
今回は柴田さんと山下さんにお話を伺いました！



支援センターラック
主任
しばた りょうきち
柴田 量吉さん

長尾さんより

柴田さんは、真面目で丁寧に支援ができる人です。相談支援に関してキャリアの長い人なので信頼しています。



支援センターラック
やました のりこ
山下 記子さん

長尾さんより

山下さんは、菩薩のような人です。怒っているところを見たことがありません。利用者様も、山下さんのおかげで安心できていると思います。また、やる時はしっかりやるので、みんなが育休からの復帰を心待ちにしていました。

Q 現在の仕事内容

私は初回面談の実施、関係機関との連携調整、求職活動支援、職場訪問、個別支援を主にこなしています。また、活動区域である中東遠圏域の課題解決や就労支援ネットワーク作りの拠点活動を行なっています。

Q 好きなところ

「人の役に立てる」ところです。同じような悩みに対して相談者の方それぞれにあった答えを導く必要があり、そこが難しい点ですが、同時にやりがいも感じます。就職が決まり「相談してよかった」と言ってくれたり、就職先で元気に明るく仕事を頑張っているところを見ると嬉しく思います。

Q 工夫していること

相談者様と良い信頼関係を築くために3つのことに取り組んでいます。1つ目は相談者様の話を丁寧に最後まで聞くこと、2つ目は相手の立場になって話を聞くこと、そして3つ目は約束や時間を守ることです。

Q 休日の過ごし方

近所の美味しいラーメンを求めて探し回っています。好きな味は和風とんこつとみそ味です。美味しいラーメン屋さんがあったら教えてください！

Q 今後の目標

相談者様や関係機関の方々から信頼される就業支援ワーカーになることです。これからも日々の支援に力を入れ毎日計画を立てて目標に向かって精進します。

Q 現在の仕事内容

日々の活動や利用者の方々の記録、相談件数などをまとめる報告業務を担当しています。その他にも利用者様の面接の同行、実習の手配や企業訪問、また、就業に伴った生活支援も行なっています。

Q 好きなところ

明和会の代表として5市1町(磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市、森町)を回ることができます。他の法人内の施設とは違い一人の利用者様に対して支援センターラックだけではなく様々な外部関係機関と協力しながら支援することができます。

Q 工夫していること

相談者様にあつた環境作りや話し方に気を付けています。周りを気にされる方であれば個室で面談を実施します。相談者様の年齢や様子、障害種別を見て判断をし、その方にあつた環境を作っています。

Q 休日の過ごし方

今はコロナ禍で難しくなっていますが、子どもたちが安心して、充実した休日を過ごせるようにショッピングモールや花鳥園、神社、フラワーパークなど毎回違った場所に行きます。

Q 今後の目標

利用者様一人ひとりにあつた対応やプランを提案することです。そのために利用者様の情報や過去の記録、障害の状態を分析して良い提案ができるように精進します。また、就職をした後も安定して働けているかどうか、それを含めて見ていけるようになりたいと思っています。